



去る八月二十五日、「みんなと倶楽部掛塚」による初めての納涼祭が、津倉邸の見学会とあわせて行われました。歩行者天国となった砂町の通りでは、盆踊りやヨサコイ踊り、フラダンスなどの踊りや、保存会や砂町若者による「掛塚祭屋台囃子」の演奏が賑やかに行われ、大勢の皆さんにお出かけいただきました。焼鳥やかき氷がすぐに売り切れてしまうなど反省点もありましたが、関係者の皆さまの御尽力に感謝申し上げます。

当日津倉邸の案内役をしながら、津倉邸最後の住人である捨蔵夫妻や、その母親お千代婆さんから聞かされたことが思い出されました。明治の初め頃、浜松県の中で地価が一番高かったのは、浜松の田町と笠井、それに掛塚だったとか、安政の地震の時、江戸屋(津倉の屋号)の船が下田で山腹に上がってしまったとか、日本一長い木橋が掛塚の有志の出資金によって架けられたとか、掛塚銀行や掛塚自動車会社が創られ、遊郭や芸者置屋などが軒を並べていたなど、当時掛塚が「遠州の小江戸」と呼ばれて繁栄していた様子を聞いてきました。

しかし、今の掛塚は、空き家が目立ち、高齢化率が四〇パーセントを超える町内もあります。私の住む砂町は、総世帯数五一戸のうち、独り暮らしが一六戸、小学生のいる世帯はたった四戸と、寂しい限りです。商店は年々減り、沢山あった魚屋も二軒なくなってしまいました。



池田藤平

このまま衰退するに任せるわけにはいかないと、津倉邸を中心にまちおこしをしようと立ち上がったのが、「みんなと倶楽部掛塚」のメンバーです。掛塚には独特の文化と歴史があります。曾布川藤次郎、鈴木勇次郎、坂田歌吉などに代表される大工さんや建具屋さんが大勢いたこと、お寺が多く、海川で亡くなった人を弔う「川施餓鬼」の行事があることなどがその例ですが、ダーヴィンの進化論を日本に初めて紹介した生物学者、丘浅次郎を生んだ掛塚は、教育熱心な土地柄で、多くの人材を輩出している地域でもあります。

私たちの住む掛塚が、誇りが持てる、住みやすい街となり、活気にあふれる街になってほしいと願っていますが、そんな私たちと一緒に活動しませんか。津倉邸の草取りをしたり、掛塚の歴史を勉強したり、時には楽しいイベントを催したりしていますが、一日だけの参加でも構いません。私たちが、自分たちの手で未来をつくっていく楽しさを、ともに分かち合いたいと願っています。

My hometown Kaketsuka

みんなと倶楽部

MINVATO CLUB 掛塚 ESTD.2016

第10号

P1 いじゃまいかけつが夏

P2 イベントの様子

P3 イベントの様子

P4 イベントの様子

地元が盛り上がった「いじゃまいかけつが夏」

お囃子保存会と砂町のお囃子披露！



第一部、お囃子保存会の演奏では会場に来ていた子供たちが小太鼓で大活躍！小さい子もお母さんに手を添えてもらい頑張ってくれました。第二部、イベントの大トリは寿組の出番。遅い時間にも拘らずたくさんの方が席を埋めてくださる中、砂町自慢の元気な子供たちの小太鼓に合わせ篠笛、大太鼓の音が鳴り響き、最後の曲となった出船囃子では、練りに加え提灯を灯したミニ屋台も登場し会場を盛り上げてくれました。

ちびっ子も参加！



「長女は白羽で太鼓を叩いているけど、次女と三女は初めて。私も初太鼓でドキドキでした。」

六月に「いじゃまいかけつが夏」を盛大に開催した後、次は夏祭りをやろうと準備をしましたが、二ヶ月半の短期間でどれだけできるだろうかといささか心配でした。しかし、終わってみれば、それも杞憂だったと驚いています。

みんなと倶楽部スタッフの行動力は、目を見張るものがありました。それにもまして町の皆さんがこのイベントに進んで参加してくれたことが大きかったと思います。地元砂町の皆さん、お囃子保存会、商工会女性部の方々、踊りのグループや、更には横町のサロンや葛屋さんに集う方たちの協力が、いつの間にか広がっていました。今回は、地元で楽しむ会にしよう、あまり広くは広報しませんが、それが地元の人たちの結束にもつながったように思います。

行政からも多大なご支援をいただきました。「玉くじが当たるクジ引き」は、文化財課や地域づくり応援課が推薦してくれて実現したものです。そもそも津倉邸を、会場として私たち地元の住民に自由に使用してくれたことも感謝したいです。今年になって、地域住民がイベントの主催者として開催できたことは、私たちにとても大きな進歩だったと思います。

一〇月には貴船神社の祭典とあわせて津倉邸を公開しますが、どんな風にお見せしようかと、知恵を絞っているところです。この時には、旧郵便局も公開して、郷土の資料を展示したいと考えています。また、地域の文化を継承していくためには、何よりも子供たちに伝えていくことが必要です。私たちの町に歴史や文化を伝えていくために、掛塚のシンボルである旧津倉邸を中心に、この町のすばらしさを伝え、後世に大切に残していく気持ちを広げていきたいと思っています。

名倉慎一郎

地元が盛り上がった「いじゃまいかけつが夏」

みんなと倶楽部  
My hometown Kaketsuka



- 会長 池田藤平
- 事務局 名倉慎一郎、大沢利行
- 編集 轟田茂巳、山内紀子、鈴木小百合、須田明広、長谷川智

お問い合わせ  
ご興味のある方は  
下記までご連絡ください！  
☎0538-66-4775 (名倉)



1等3,000万円!!が当たるかもしれないスクラッチの宝くじ!!が当たるかもしれないくじ引き!!

先着500名様でしたが、競争率が案外低く、イベントに参加して福引き券をゲットし、何度かチャレンジした人も。

今回の最高当選額はなんと!!300円。次回があれば、運が貯まっていそうで、乞うご期待です。

出たれ!スクラッチ!!



盆踊りの皆さんの動きはさすが!「しなやか」でとてもきれいでした。

最初は小さな輪でしたが少しずつ参加してくれる人が増えていき、最後の曲では小さいお子さんからご年配の方まで世代を超えた人達の“大きな輪”となりました。

みんな盆踊り!



たくさんの方が来てくれました!



夏の夜はやっぱり花火!



法多山のたんごも大人気!

参加者の感想

楽しく参加したよ!

良かったにいいわしやあ踊りとか歌とかやれんけど、見るのはすきだもんで最後までいたよ。泡っくらいだもんで、あくいうの大好きだわね。

見学者 80代女性

ぼくは、初めて盆踊りを踊りました。お囃子の練習の時にやった盆踊り練習で、最初はぜんぜん出来なかつたけど、ずっとやっていると、楽しくできるようになりまして。本番の時は、きちんと踊れました。また、やりたいと思いました。

砂町 鈴木秀虎

ぼくは、初めて盆踊りを踊りました。お囃子の練習の時にやった盆踊り練習で、最初はぜんぜん出来なかつたけど、ずっとやっていると、楽しくできるようになりまして。本番の時は、きちんと踊りました。でも、ちゃんと来たので、とてもうれしかったです。

砂町 鈴木佑虎



結成12年。習った曲は12曲以上。覚えている曲は…。(笑)各地でのイベントに呼ばれる事も多く、始めた頃(若かった)は浜松や静岡に遠征して踊った事もあったそうです。華やかな衣装をまとい鳴子を鳴らしながらパワフルに踊る姿はバッチリ決まっていますカッコよかったです。

フラダンスの練習かー!



フラの美しさに惹かれ、地元の“仲間”との縁(えん)を大切に明るく活動されている皆さん。可愛い衣装にカンカン帽子姿で登場し「見てくれる人が喜んでくれるなら笑われたっていいのよ」と。夢は「ハワイでハワイアンダンスを踊る事!」あつ、これ内緒でしたっけ?(笑)

フラダンスのゆったりとした曲とダンスに癒され、よさこいの力強い(パフォーマンスに)パワーを貰い、盆踊りは懐かしい和の心をたくさんの方々と共有することができました。踊りには「町おこし」「仲間づくり」「健康維持」「ボケ防止?」、そして「笑顔にほれる」ほどの場所がたくさんありました。

皆さんのお陰で開催できました!



照明の準備



くりものやも出店



お囃子保存会の皆さんも会場での準備



つたやさんではスーパーボールすくいや、野菜や草履等の販売も。



夏は生ビール



しおさい竜洋さんの出店も子供に人気でした!



商工会女性部で販売したヤマタの焼き鳥は大人気!



横町のいきいきサロンさんの心がこもった手作り品は見事に完売!

フラダンスの練習かー!